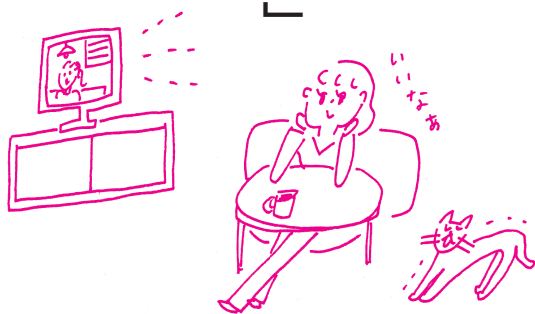


SNSを見て
「わく！ すてきな部屋！」と
思ったり。



テレビの部屋特集を見て
「こんなお部屋にしてみたいな」
と思ったり。



けれどわが家を見渡すと……

せまいし。

賃貸だし。

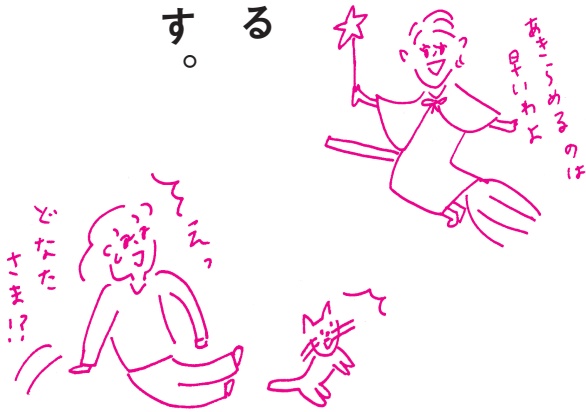
というか、変えるなんて

やっぱりめんどくさい。



でも大丈夫。

初心者でもかんたんに行ける
部屋づくりの方法、教えます。



はじめに

この本は「センスがなくても、今あるモノであか抜けた部屋をつくれる本」です。センスがなくても？ 新しいモノを買わなくても？

はい。大丈夫です。なぜなら、部屋づくりにはルールがあるから。ルールとはいわゆる方程式。でも学校や家庭で、そのルールを教わる機会はほとんどないですよ？ だからあなたは知らないだけです。

私はインテリアコーディネーターの荒井詩万と申します。少しだけ私の話をさせてくださいね。

中学生のとき、初めて1人部屋をつくってもらいました。それまで弟と同じ部屋だったのでもううれしくて、家具の配置はどうしよう？ 何を飾ろうかな？ とウキウキ

した気持ちになったのを、今でも覚えています。

高校生の頃は、いいなと思ったエスニック柄のラグをお年玉で買ったり、パンクバンドのポスターや、フリーマーケットで見つけた古いタイプライターをなぜか飾ったりしました。今考えると謎なインテリアですね（笑）。お世辞にもセンスがいいとはいえない感じです。でもそれからずっと、趣味は部屋の模様替え。

月日は流れ、大学を卒業し設計事務所として働いていたある日のこと。やっぱりインテリアに関わる仕事をしたい！ と思い、スクールに通います。それからはインテリアコーディネーター一筋。猛勉強をして、失敗をくり返し、経験を積んできました。

最初は「友人宅の椅子をひとつ選ぶ」ことからキャリアをスタート。今ではフリーランスのインテリアコーディネーターとして、個人の戸建住宅やマンションのコーディネーター、リフォームなど、150件以上を手掛けています。また、インテリアスクールや大学での講師、自宅インテリアレッスン、さまざまなセミナー開催を通して、今まで4000人以上の方にインテリアのノウハウを伝えています。

たくさんの人と話をできて私が痛感したこと。それは「私にはセンスがない。だから部屋がすてきにならない」と、あきらめている人が多いことです。もうこれは、残念で仕方ありません。

ここで、ひとつだけ覚えておいてほしいことがあります。

それは、最初からセンスがいい人なんて存在しないということ。この仕事をしている私でさえ、最初からセンスがあつたかと聞かれると……微妙です。

だって先ほどお話した初めての1人部屋。どう考えてもイマイチですよ？ それもそのはず。当時はルールなんて何も知りませんでしたから。

冒頭でお伝えしたとおり、部屋づくりにはルールがあります。それを知れば「だれでも」「かんたん」にあか抜けた部屋に変えられます。

だから「センスは生まれつきのもの」なんて、大いなる勘違い。極端に言えば、最初からセンスなんてないほうがよいと思うくらいです。

なぜなら先入観のないほうが、ルールの吸収が早いから。何も知らなければ知らない人ほど、フットワークが軽く、見違えるほど部屋がおしゃれになっていくのです。

ルールを知ると、もつといいことがあります。

できるだけお金をかけない。これができるようになることです。

「インテリアはお金がかかる」と言う人は、おしゃれにするなら、イチからやり直さないといけないと感じています。でも、それも思い込み。ルールを知れば、お金をかけなくても部屋はおしゃれになります。

この本を読んで、1人でも多くの人に、部屋が変わる感動を体験してほしい。

そして家で過ごす時間こそが、最高の贅沢であることに気づいてほしい。

だって、家は自分自身を映し出す鏡。

部屋が変わればあなたも変わります。

さあ、あなた史上最高の部屋へと変えていきましょう！

はじめに

006

第1章 あか抜けた部屋とは何か？



みんなな部屋をどうしていいか、わからない

016

自分らしさはルールのあとにやってくる

025

無理な条件の家は存在しない

028

あか抜けた部屋とは、いったいどんな部屋なのか

033

迷ったら玄関コーナーから始めてみる

036

第2章

部屋があか抜ける20のルール



- RULE 01** 入口の対角に何を置くかですべてが決まる……………040
- RULE 02** 1ヶ所だけに視線を集めて見せ場をつくる……………046
- RULE 03** 背の低い家具を奥にすると錯覚で広く見える……………052
- RULE 04** 床の余白は3分の2がベストバランス……………056
- RULE 05** 130〜150cmの観葉植物を見つけたらマストバイ……………060
- RULE 06** クッションは3個が正解である……………066
- RULE 07** 三角形の法則なら1分でディスプレイが完成する……………072
- RULE 08** 同じモノを3つ並べるだけでいい……………078
- RULE 09** ちぐはぐに感じたら色か素材でグループ分け……………082
- RULE 10** 色数は3色にとまとまる……………086
- RULE 11** 壁は余白が9割。まずはそこからスタート……………092

第3章 今よりあか抜ける場所別のルール



RULE 12 不ぞろいでも、1本ラインを決めると一瞬で整う……………096

RULE 13 フレームに入れると子どもの絵も巨匠レベルになる……………100

RULE 14 人が無意識に眺める、75〜135cmのゾーンが狙いめ……………104

RULE 15 ラグを敷くと区切りが生まれる……………108

RULE 16 カーテンと窓はジャストサイズしかありえない……………114

RULE 17 美しく見える花と花瓶の割合は1対1……………120

RULE 18 照明を1個だけプラスする……………126

RULE 19 本棚をインテリアとして考える……………132

RULE 20 写真はモノクロにするとギャラリーになる……………138

あか抜ける「リビング・ダイニング」……………142

あか抜ける「ベッドルーム」……………151

第4章

失敗しない購入のコツ



あか抜ける「子ども部屋」……………

159

あか抜ける「玄関」……………

168

あか抜ける「和室」……………

173

あか抜ける「ペットのいる部屋」……………

177

場所別のルール番外編 あか抜ける「水回り」……………

182

お金をかけるべきモノ、かけなくてよいモノがある……………

186

失敗しないネットショッピング……………

191

「ソファ」を買うなら……………

194

「ダイニングテーブル」を買うなら……………

197

「ダイニング用の椅子」を買うなら……………

200

「テレビ台」を買うなら……………

203

「ローテーブル」を買うなら……………205

「ベッド」を買うなら……………207

「本棚」を買うなら……………210

「カーテン」を買うなら……………212

「ラグ」を買うなら……………216

「照明」を買うなら……………219

「掛け時計」を買うなら……………220

おすすめシヨップリスト……………222

付録

相性のいい！ 色の組み合わせリスト

あか抜けた 部屋とは何か？



.....
どうして部屋づくりはうまくいかないのか、
あなたの疑問にズバリ回答します。
.....

みんな部屋をどうしていいか、わからない

「部屋に関する悩みはなんですか？」

こんなふうに聞くとだいたいの方がこう答えます。

「なんですか？　って言われても……。とにかくイマイチなんですよね」

どこがイマイチなのか、理由をたずねると

「ん〜。よくわからないけど、なんかイマイチなんです」

やっぱりみなさんこう答えます。そして次にこう言います。

「イマイチなのはわかってるんです。でも何をどうすればいいのかわからないんです」と。

家族みんなでテレビを見たりゲームをしたりしたい。でも手狭でゆったり楽しめないとか。

気に入って買った絵を飾ってみた。でもなんだかしっくりこないとか。

リラックスできる部屋にしたいくて観葉植物を置いてみた。でもやっぱり落ち着かないとか。

こんなふうに「こうしてみたいな」という願望はなんとなくある。でも、具体的に部屋をどうすればいいのかわからず、**結局そのまま何もできずにいる人がほとんど**。これが現実です。

雑誌やネットの部屋づくり特集で、よくこんな言葉を見かけます。

「ライフスタイルに合わせた部屋づくりをしましょう」

「テイストをそろえましょう」

「まずは理想の部屋をイメージして」

はつきりいって、これは上級テク。部屋づくりを考えたことがない人にとっては、かなりハードルが高いと思います。

そもそもライフスタイルって何？ テイストをそろえるってどうすればいいの？
理想の部屋なんて言われても……という人もいます。

長年、個人邸のインテリアコーディネートをし、さまざまな場で部屋づくりのことをお話してきた私を感じる、多くの人のリアルな気持ち。

それは

理由はわからないけど、部屋がイマイチ。
でも、何をどうすればいいかわからない。

シンプルにこれにつきると思います。

イマイチという部分は、人によっては「ごちゃごちゃ」「ちぐはぐ」「さみしい」という言葉のほうをもっとしつくりくるかもしれません。

▼ 「なんとなく」がすべての原因

多くの人が陥るイマイチな部屋。これには共通の原因があります。
なんだと思いますか？

それはズバリ

「なんとなく」

です。

たとえばあるお客様との会話。

私「この置物はどうしてここに置いているのですか？」

お客様「ん〜。なんとなく」

私「どうしてこのテーブルを選んだのですか？」

お客様「……なんとなくですかね？」

そう。この曖昧あいまいさを象徴する「なんとなく」という感覚。これがイマイチ部屋の真犯人です。

「なんとなく」になってしまふのは当たり前のこと。

なぜなら部屋づくりってだれにもやり方を教わっていないから。知らないなら、感

覚に頼るしかありません。

たとえばリビングを構成する、ソファ、テレビ台、カーテン、照明、ラグ、クッション、小物、壁に掛けた絵、観葉植物……などなど。

これらは、どこのお家でも見かけるモノ。けっして珍しいモノではありませんよね。それなのに、部屋はどうしてイマイチになるのか。

その理由はやっぱり「なんとなく」の感覚でいるからです。

な・ん・と・な・く・テ・レ・ビ・台・を・置・い・て・い・る・か・ら。

な・ん・と・な・く・ソ・フ・ア・を・置・い・て・い・る・か・ら。

な・ん・と・な・く・絵・を・飾・っ・て・い・る・か・ら。

だから、部屋全体もなんとなくイマイチになってしまうのです。

▼どんな部屋でもあか抜ける

この本では、部屋があか抜ける20のルールを紹介しています。

この20のルールは「なんとなく」をやめる方法ともいえます。

部屋づくりのルールは、数学や化学でいえば、法則や定理、公式のようなもの。普遍的なものですから、どんな状況でもこの法則をあてはめられます。こんがらがった問題も、すつきりと整理され、答えを導くことができます。

ルールを知るとこんなメリットがあります。

①失敗しなくなる

何度もやり直すこと、失敗をくり返すことがなくなります。なんとと言っても、部屋づくりが楽しくラクになります。

② 時間がかからなくなる

配置や飾り方に試行錯誤する時間が減ります。短い時間でセンスよく仕上がるようになります。すっきりするので片付けや掃除の時間も短くなります。

③ お金のムダ遣いが減る

部屋に合うモノがわかるようになります。買うべきモノがわかり、お金のムダ遣いが減ります。「かわいい！でもこれはわが家には合わないな」という判断ができるようになります。

④ ストレスが減る

モノや色が多くごちゃごちゃした部屋は、情報が多く疲れやすいといわれます。部屋が洗練されると精神的にも落ち着きます。

⑤ 人を呼べるようになる

気張らずに、いつでも人を招くことができるようになります。人を呼べると自分の自信にもつながります。

どうでしょう？

いいことづくしではないですか？